

Cisco Prime Infrastructure (仮想マシンのみ) のパスワード回復

目次

[はじめに](#)

[ステップバイステップ手順](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Prime Infrastructure サーバで管理者パスワードを回復 (つまり、リセット) する方法について説明します。このドキュメントの内容は、Cisco Prime Infrastructure バージョン 1.2 以降に適用されます。ここで説明する手順は、顧客が提供したハードウェアに仮想マシン (OVA) としてインストールされているサーバのみを対象としています。[アプライアンス向けには、別の手順があります。](#) を参照してください。

手順

このプロシージャは OVA のパスワードが顧客 ハードウェアでインストールした Cisco Prime Infrastructure サーバ管理者をリセットする方法を説明します。ソフトウェアのバージョンに対応した ISO インストール イメージのコピーを入手していて、管理者パスワードをリセットする前に、VMware サーバからこのイメージをブートできる必要があることに注意してください。これらのステップはこの要件を満たすために簡単な手順を組み込みます。

1. 管理者パスワードを回復ように試みる前に使用する Cisco Prime Infrastructure のバージョンのために適切なインストール ISO イメージのコピーを持たなければなりません。Cisco Prime Infrastructure ISO イメージ ファイルに形式 `PI_APLversion.iso versionis` 製品のバージョン番号ある。次に、例を示します。Cisco Prime Infrastructure バージョン 3.1 の最新バージョンを使用する場合、ISO イメージ ファイル `PI-APL-3.1.0.0.132-1-K9.iso` のコピーがあるはずですが ISO イメージのコピーを入手していない場合は、次の手順で Cisco.com からダウンロードできます。<https://software.cisco.com/download/navigator.html> にブラウザをポイントして下さい。**Cisco Prime Infrastructure** を探すのに検索ボックスを使用して下さい。結果リストから、使用するソフトウェア バージョンを選択して下さい (たとえば、Cisco Prime Infrastructure 3.1)。そのソフトウェア バージョンのための ISO および他のダウンロード可能イメージ ファイルのリストを表示するために **Prime Infrastructure ソフトウェア** を選択して下さい。そのページから ISO イメージをダウンロードします。
2. ISO イメージのコピーがあったら、仮想マシンのデータストアにそれを次の通りアップロードして下さい。vSphere コンポーネント、データストア、またはオブジェクト機能にアクセスできなかつたら、VMware 管理者に相談して下さい。また vSphere クライアントから ESX に直接アクセスする必要がありません。vSphere インベントリで、[Datastores] をクリックします。オブジェクトでファイルをアップロードするデータストアを記録して下さい、選択して下さい。[Navigate to the datastore file browser] アイコンをクリックします。必要に応じて、[Create a new folder] アイコンをクリックして、新しいフォルダを作成します。作成したフォルダを選択するか、既存のフォルダを選択して、[Upload a File] アイコンをク

リックします。クライアント統合 アクセスコントロール ダイアログ ボックスが現われる場合、プラグインがオペレーティング システムにアクセスし、ファイル アップロードを続行するように割り当てをクリックして下さい。ローカル コンピュータで、ファイルを検索して、そのファイルをアップロードします。リストのアップロードされたファイルを見るためにデータストア ファイル ブラウザをリフレッシュして下さい。

3. データストアにアップロードされて ISO イメージがそれにデフォルト ブートイメージを次の通り作って下さい:VMware vSphere クライアントで、展開された OVUM を右クリックし、**電源を > シャットダウンされたゲスト**選択して下さい。> **ハードウェア** 『Edit Settings』を選択し、そして **CD/DVD ドライブ 1.**を選択して下さい。装置タイプの下で、**データストア ISO ファイル**を選択し、そしてデータストアにアップロードした ISO イメージ ファイルを選択するために **Browse ボタン**を使用して下さい。装置状態の下で、**電源**で 『Connect』を選択して下さい。Options タブをクリックし、**ブート オプション**を選択して下さい。カ BIOS 設定の下で、**時間 VM を起動します BIOS Setup** 画面に、**Force エントリ** 『Next』を選択して下さい。これは仮想マシンを再起動するとき仮想マシン BIOS からのブートを強制します。[OK] をクリックします。VMware vSphere クライアントで、導入済みの OVA を右クリックして、[Power] > [Power On] の順に選択します。BIOS セットアップ メニューで、デバイスのブート順序を制御するオプションを探して、[DVD/CDROM] を一番上に移動します。
4. Cisco Prime Infrastructure サーバ 管理パスワードを休息させるために次の手順に従って下さい:BIOS 設定を保存して、BIOS セットアップ メニューを終了します。仮想マシンは ISO イメージから起動し、ブート オプションのリストを表示します。コンソールによってアクセスする場合キーボードを使用し、OVUM にアクセスするために監視したらまたは 4 つを入力して下さい 3 つ。vSphere クライアントに、管理者ユーザ名のリストが表示されます。パスワードを回復する管理者ユーザ名の横に表示された番号を入力します。新しいパスワードを入力し、2 回目の入力でそれを確認します。変更および再度ブートするを保存するために **Y**を入力して下さい。VM が再起動したら、vSphere クライアントで、CD アイコンをクリックし、**ISO イメージ**を 『Disconnect』を選択して下さい。新しい管理者パスワードを使用してログインを試行します。正常にログインできるはずです。

関連情報

- [Cisco Prime Infrastructure のサポート](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)